

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【公開番号】特開 2006-61249 (P2006-61249A)

【公開日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-010

【出願番号】特願 2004-244801 (P2004-244801)

【国際特許分類】

A 6 2 D 1/00 (2006.01)

A 2 4 F 19/14 (2006.01)

A 6 1 L 9/01 (2006.01)

【F I】

A 6 2 D 1/00 Z A B

A 2 4 F 19/14 A

A 6 1 L 9/01 B

A 6 1 L 9/01 R

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 14 日 (2007.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸水前の吸水性樹脂中の重量平均粒子径が、120 μm ~ 5 mm であって、

吸水前の吸水性樹脂中の粒子径 150 μm 未満の微粒子の割合が 20 質量% 以下であって、

該吸水性樹脂は水より比重の小さい物体で保持されることにより、水中に浮遊する又は水面に浮くことを特徴とする吸水性樹脂。

【請求項 2】

吸水前の吸水性樹脂中の重量平均粒子径が、120 μm ~ 5 mm であって、

吸水前の吸水性樹脂中の粒子径 150 μm 未満の微粒子の割合が 20 質量% 以下であって、

芳香剤又は植物成分を含み、

水中に浮遊する又は水面に浮くことを特徴とする吸水性樹脂。

【請求項 3】

前記吸水性樹脂は水より比重の小さい物体で保持されることにより、水中に浮遊する又は水面に浮くことを特徴とする、請求項 2 に記載の吸水性樹脂。

【請求項 4】

さらに水溶性高分子又は界面活性剤を含む請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の吸水性樹脂。

【請求項 5】

請求項 2 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の吸水性樹脂を含む芳香ゲル。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の吸水性樹脂又は請求項 5 に記載の芳香ゲルを用いた消臭方法。

【請求項 7】

廃煙草に適用される請求項 6 に記載の消臭方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】吸水性樹脂及び消臭方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の諸目的は、下記の(1)～(7)により達成される。

(1)：吸水前の吸水性樹脂中の重量平均粒子径が、 $120\mu\text{m} \sim 5\text{mm}$ であって、吸水前の吸水性樹脂中の粒子径 $150\mu\text{m}$ 未満の微粒子の割合が20質量%以下であって、該吸水性樹脂は水より比重の小さい物体で保持されることにより、水中に浮遊する又は水面に浮くことを特徴とする吸水性樹脂。

(2)：吸水前の吸水性樹脂中の重量平均粒子径が、 $120\mu\text{m} \sim 5\text{mm}$ であって、吸水前の吸水性樹脂中の粒子径 $150\mu\text{m}$ 未満の微粒子の割合が20質量%以下であって、芳香剤又は植物成分を含み、水中に浮遊する又は水面に浮くことを特徴とする吸水性樹脂

(3)：前記吸水性樹脂は水より比重の小さい物体で保持されることにより、水中に浮遊する又は水面に浮くことを特徴とする、(2)に記載の吸水性樹脂。

(4)：さらに水溶性高分子又は界面活性剤を含む(1)～(3)のいずれか1つに記載の吸水性樹脂。

(5)：(2)～(4)のいずれか1つに記載の吸水性樹脂を含む芳香ゲル。

(6)：(1)～(4)のいずれか1つに記載の吸水性樹脂又は(5)に記載の芳香ゲルを用いた消臭方法。

(7)：廃煙草に適用される(6)に記載の消臭方法。